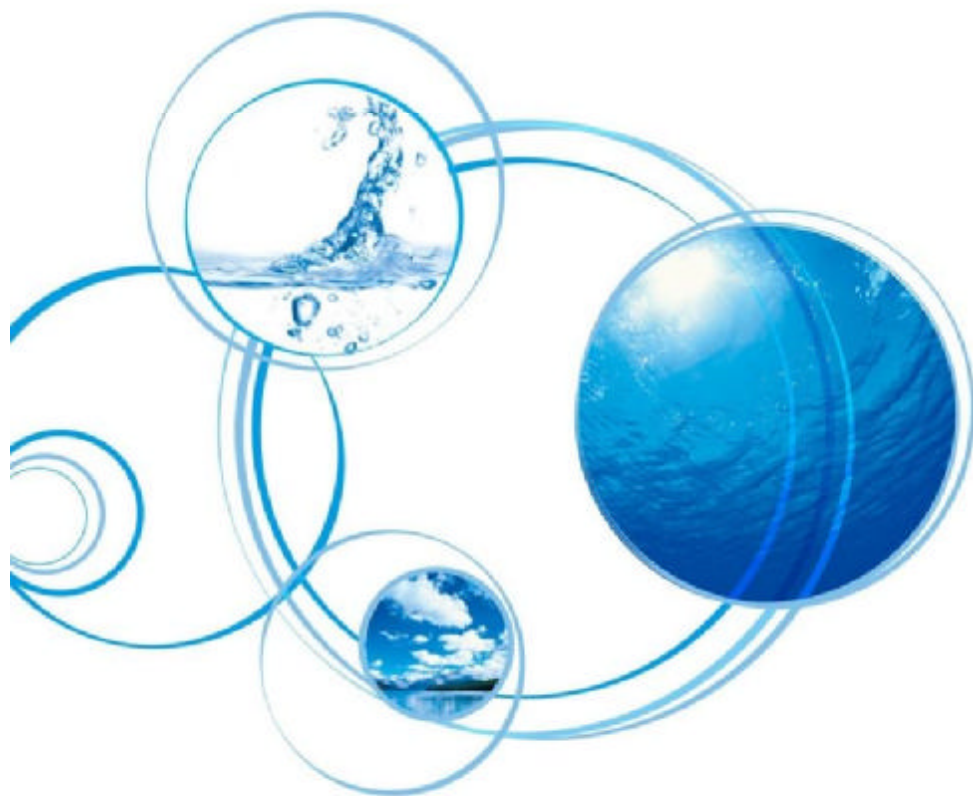


2023年6月14日

2023年3月期連結決算概要と 2024年3月期連結業績予想等について

(2023年3月期決算短信補足説明資料)



企業理念

100年先も人と地球をつなぐ情熱で、
笑顔あふれる環境を技術と製品で創造し、
社会に貢献します。

 水道機工株式会社

代表取締役社長 古川 徹

資料目次

1. 2023年3月期連結決算概要
2. 2024年3月期連結業績・配当予想
3. 新中期経営計画（2023～2025年度）
4. 企業理念とビジョンについて
5. 水道機工グループの紹介

1. 2023年3月期連結決算概要

(1) 2023年3月期連結損益概要

単位：百万円

サマリー

- 売上高は、前期受注高減少並びに工事資材の 調達遅延に伴う次年度への工事工程繰り越し等での工事出来高減少により、減収となった。
- メンテナンス案件の受注増や販売価格改定による採算改善に努める。

	2022/3	2023/3	増減率
売上高	22,662	21,929	△3.2%
営業利益	1,070	761	△28.8%
経常利益	163	409	150.2%
親会社株主に帰属する当期純利益	39	273	596.8%

- 一方で、要員拡充、情報セキュリティ強化、開発費増、管理部門強化等により販売費及び一般管理費が増加し、営業利益は前期比減益となった。
- 経常利益は、営業外収益として貸倒引当金戻入額 1 億76百万円計上、持分法による投資損失が前期比で減少も 5 億 2 百万円計上により前期比増益。

1. 2023年3月期連結決算概要

(2) 連結受注高及び受注残高

単位：百万円

サマリー

- 受注高は、過去最高額を更新した。
- 水道施設老朽化に伴う更新・改修案件の発注が進み、とりわけ大型の更新・既設改修案件の発注(右記参照)が前期と比較し増加。
- 受注残高も、過去最高額となり、2023年予想売上高(216億円)の約1.7倍の受注残高水準を確保した。

	2022/3	2023/3	増減率
受注高	15,569	32,588	109.3%
受注残高	26,038	36,698	40.9%

主な大型案件

発注者/受注金額(税抜)

- 田川広域水道企業団 /44.6億円
- 大阪市水道局 /32.5億円

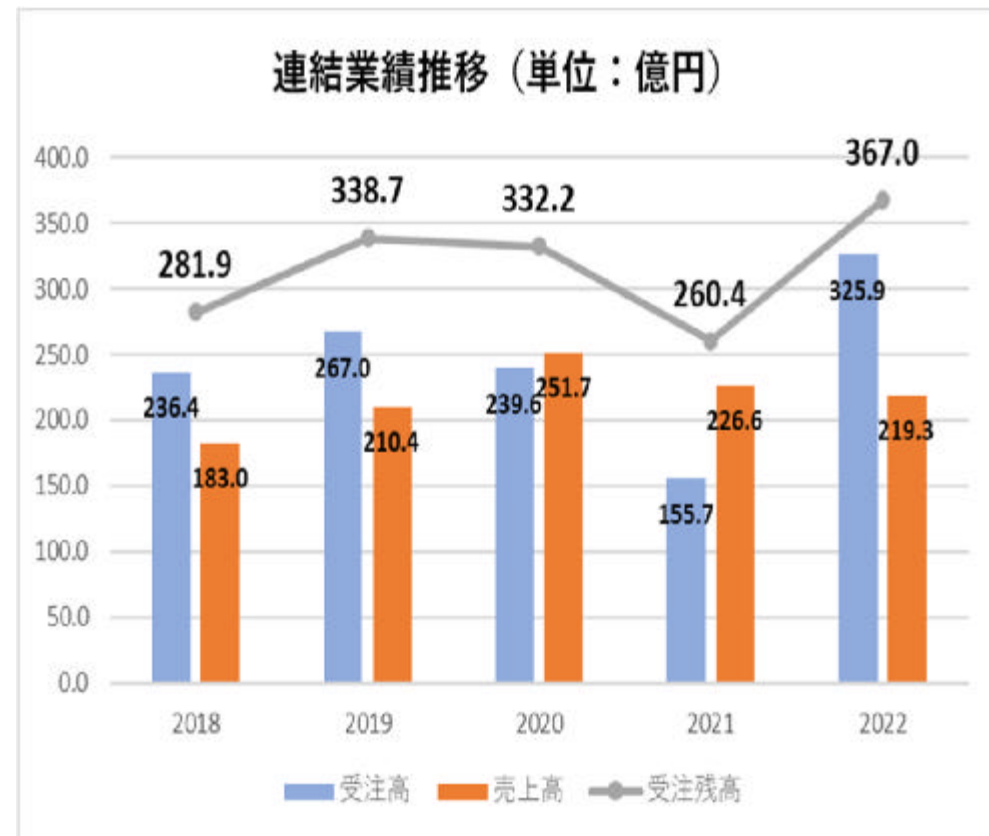


1. 2023年3月期連結決算概要

(3) 連結業績の過去5年推移

① 連結受注高・売上高・受注残高

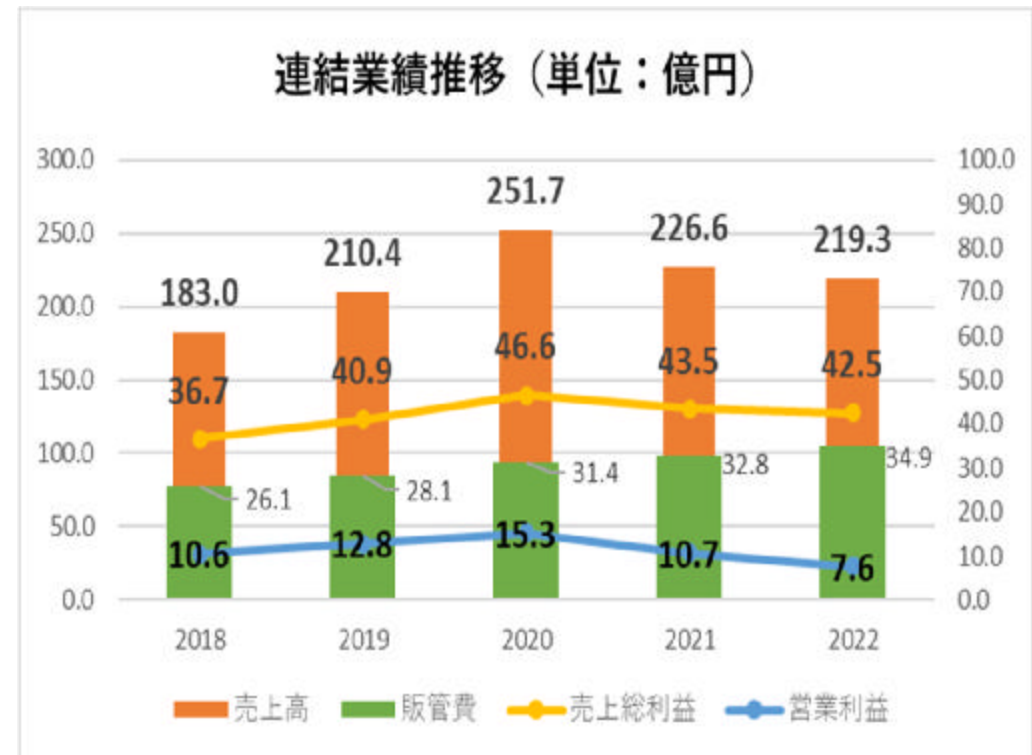
- 受注高の大幅増加により、受注残高最高額を計上。受注案件の大型化が主因。
- 直近2年では売上高は安定して220億円前後を確保。
- 次年度への工事工程繰り越し等により工事出来高減少で、予想売上高に僅かに至らず。



1. 2023年3月期連結決算概要

②連結売上高、売上総利益、営業利益の推移

- 2020年の大型工事完工で過去最高水準の売上高計上後、220億円前後をキープ。
- 大型工事の出来高が一服し、減収により売上総利益が減少するも、2022年は売上総利益率が僅かながら改善。（+0.2ポイント）
- 要員拡充、情報セキュリティー強化、開発費増、管理部門強化等により、販売費及び一般管理費が引き続き増加。
- これら要因により、2年連続での営業利益減少。



1. 2023年3月期連結決算概要

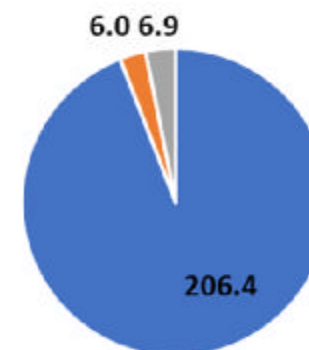
(4) セグメント別売上高・営業利益

① セグメント別売上高

単位：億円

セグメント	2022/3*	2023/3	増減率
上下水道事業	213.0	206.4	△3.1%
環境事業	7.2	6.0	△17.2%
機器事業	6.2	6.9	+10.3%

セグメント別売上高(単位:億円)



【セグメント分類】

上下水道事業

上下水道施設向け浄水処理設備等の製造、販売、メンテナンス、運転・維持管理

環境事業

産業用廃水施設等の製造、販売、メンテナンス

機器事業

バルブ類、薬品注入装置および非常災害用浄水装置等の製造、販売

② セグメント別営業利益

単位：億円

セグメント	2022/3*	2023/3	増減率
上下水道事業	11.1	8.1	△27.4%
環境事業	▲0.5	▲1.1	—
機器事業	0.0	0.6	—

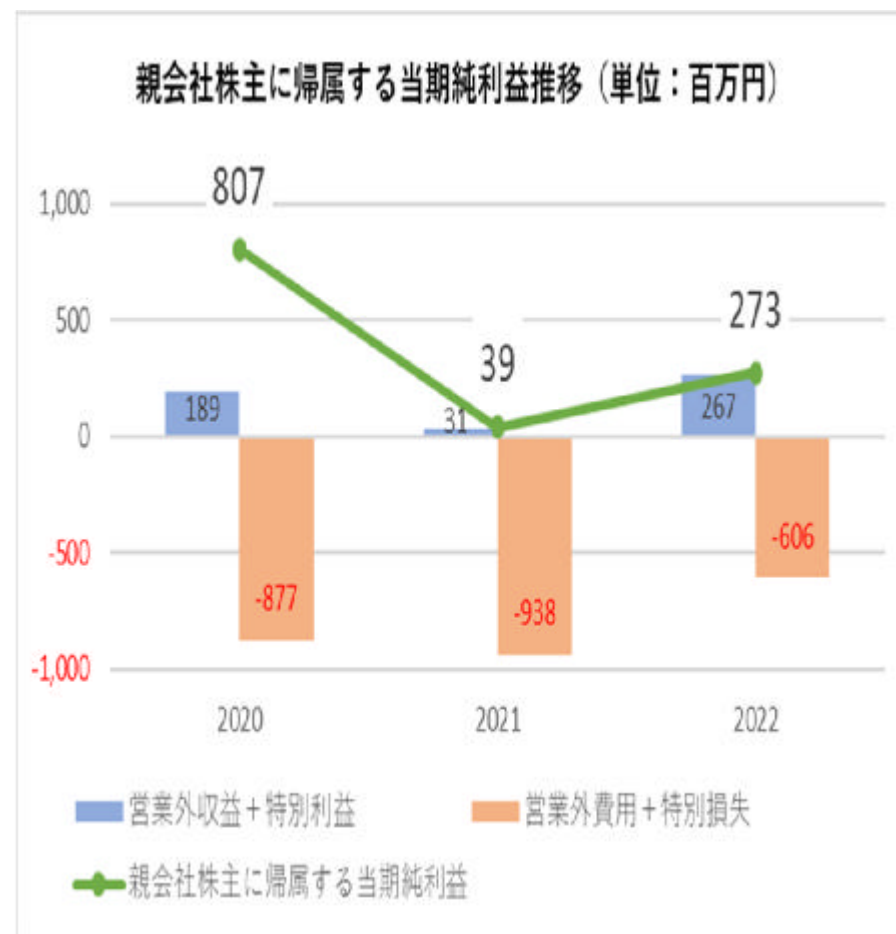
* 2022/3の数値は、売上高、営業利益ともにその他の事業を除外して表示

1. 2023年3月期連結決算概要

(5) 連結経常利益・親会社株主に帰属する当期純利益の推移

- SKME(*)に関連する営業外費用及び特別損失の減少等により、経常利益が4億9百万円となった。また、親会社株主に帰属する当期純利益は2億73百万円と前期比で増加。

*SKME: 在サウジアラビアの持分法適用関連会社であるSuido Kiko Middle East社の略



(6) 2023年3月期配当

- 安定配当を維持し、1株当たり55円とした。
- 2023年6月29日開催の定時株主総会において決議を予定。

2.2024年3月期連結業績・配当予想

(1) 2024年3月期連結業績予想

単位：百万円

	2023/3実績	2024/3予想	増減率
売上高	21,929	21,600	△1.5%
営業利益	761	150	△80.3%
経常利益	409	150	△63.3%
親会社株主に帰属する 当期純利益	273	60	△78.1%

①売上高・営業利益サマリー

- 2020年3月の不正事案発覚以降、他社との協業案件に関し積極的な営業を控えたことから、中期経営計画期間中での収益に必要な受注高が確保できず、売上高への影響は不可避の見通し。
- この影響は2023年度において売上高ベースで15億～20億円程度の下振れと予測。一方、同期間中並びに2030年へ向けた事業拡大に備え、技術要員確保や開発費増等を引き続き行うことから、営業利益は1.5億円となる見込み。

2.2024年3月期連結業績・配当予想

②営業外収益・費用&経常利益サマリー

- 2023年3月期において、貸付金返済に伴う貸倒引当金戻入額並びに持分法適用関連会社であるSKME社に関連した持分法による投資損失を計上。
- 2024年3月期において、貸付金が約定通り返済されることを前提に貸倒引当金戻入額約3億円の計上を営業外収益として見込む。一方、SKME社関連での持分法による投資損失等を同額程度見込み、営業外での収支ゼロをベースとし、経常利益1.5億円と業績予想を計量。

③親会社株主に帰属する当期純利益サマリー

- 前記営業利益、経常利益の状況から、親会社株主に帰属する当期純利益を60百万円とする。

なお、営業停止処分に基づき各自治体等から出される入札指名停止処分によって、業績への影響が見込まれますが、連結業績予想へ重要な影響があると判明した場合には、適時開示を行います。

2.2024年3月期連結業績・配当予想

(2) 配当予想及び方針

- 当社グループにおける中期的な業績見通しは、中期経営計画の通り 2026年3月期には2022年度並みの回復を計画。
- 行政処分という事業環境外での要因の影響により一定期間厳しい状況となるが、水道インフラ更新・改修における事業環境やその使命を担う当社グループの役割は変わらないとの認識。
- 従来の安定配当を維持して株主還元を行う方針とし、2024年3月期の配当予想は、1株当たり55円とする。
- 安定配当の継続をベースに配当方針としてDOE等の指標を用いる検討を開始。

	2022/3 実績	2023/3 実績	2024/3 見通
配当性向	600.4%	86.1%	392.3%
DOE	2.4%	2.4%	2.4%

3.新中期経営計画(2023～2025年)

新中期経営計画 (2023～2025年)

企業理念に掲げる「社会への貢献」の実現に向け、水道インフラを担うリーディングカンパニーとしての責任と情熱をもとに引き続き事業活動に取り組んで参ります。

当社グループの主力である浄水場における更新市場減少・発注方式の見直しという大きな事業環境の変化への対応が主要課題と認識。

(1) 主要な中期事業課題

浄水場設備メンテナンス分野における事業拡大を重点施策として、グループ全体での最適かつ効率的な事業運営体制を構築。

既存の浄水場更新・建設分野における収益力維持を図ることにより将来のメンテナンス基盤を確保。

3.新中期経営計画(2023～2025年)

(2) 事業課題に対する方針・施策

中期事業課題	中期事業方針	当面の施策
メンテナンス分野における事業拡大	浄水場等施設維持のためのメンテナンス対応ニーズが増加している顧客の状況から、 <u>潜在的な既設設備に対するメンテナンスニーズ掘り起しを強化し、安定的な収益基盤の確立を目指す。</u>	メンテナンス案件受注量の拡大 事業基盤・要員体制の拡充
浄水場更新・建設分野における収益力維持	DB(*1)市場での <u>プレゼンス向上</u> により浄水場更新・建設分野での現状収益の維持を図る。 *1.DB: Design Build(設計・建設一括発注方式)の略。	更新案件受注量の維持・確保 事業基盤・要員体制の維持 新製品開発の推進

3.新中期経営計画(2023～2025年)

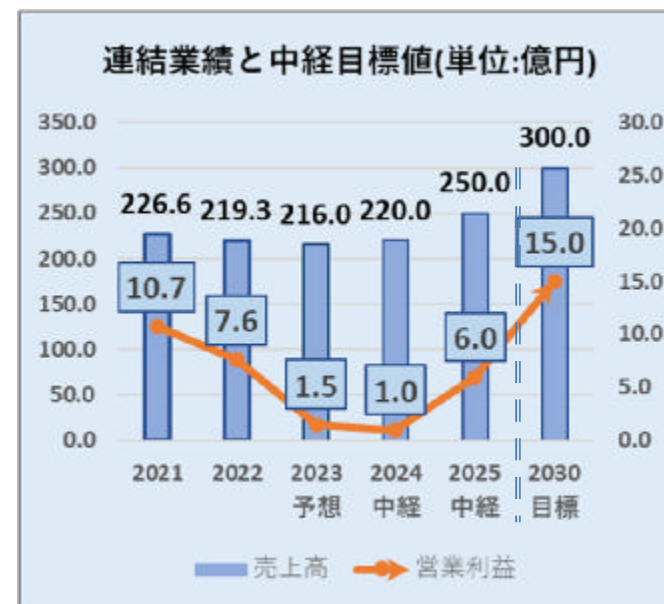
(3) 中期経営目標

これら事業別方針ならびに課題の実行を通じて、中長期における営業利益構造として、**2030年までに上下水道事業におけるメンテナンス分野での比率を6割(2割弱)**とし、浄水場更新・建設(現状7割強)へ依存する収益構造からの脱却を掲げ、グループ全体の事業拡大を目指して参ります。

単位：億円

	2021	2022	2023 (予想値)	2024 (中経値)	2025 (中経値)	2030 (目標値)
受注高	155.6	325.8	170.0*	240.0	250.0	300.0
売上高	226.6	219.2	216.0	220.0	250.0	300.0
営業利益	10.7	7.6	1.5	1.0	6.0	15.0

*2023受注高予想値は、中経値としている。



4. 企業理念とビジョンについて

企業理念

100年先も人と地球をつなぐ情熱で、
笑顔あふれる環境を技術と製品で創造し、
社会に貢献します。

ビジョン

- 感謝の気持ちを忘れずに、喜びと感動をお届けします
- 真面目に謙虚にひたむきに、あらゆる課題にこたえます
- パイオニア精神で、感動を共有できるプロ集団を目指します
- 地球に愛されるパートナーとして、きれいな水を追求します

5. 水道機工グループの紹介

(1) 水道機工グループとは

浄水場への浄水設備をはじめ、多様な分野で事業活動を行う、水処理エンジニアリンググループ。

企業理念とビジョンをベースに「100年先を見据えて持続可能性(サステナビリティ)を追求」するビジネスを展開。

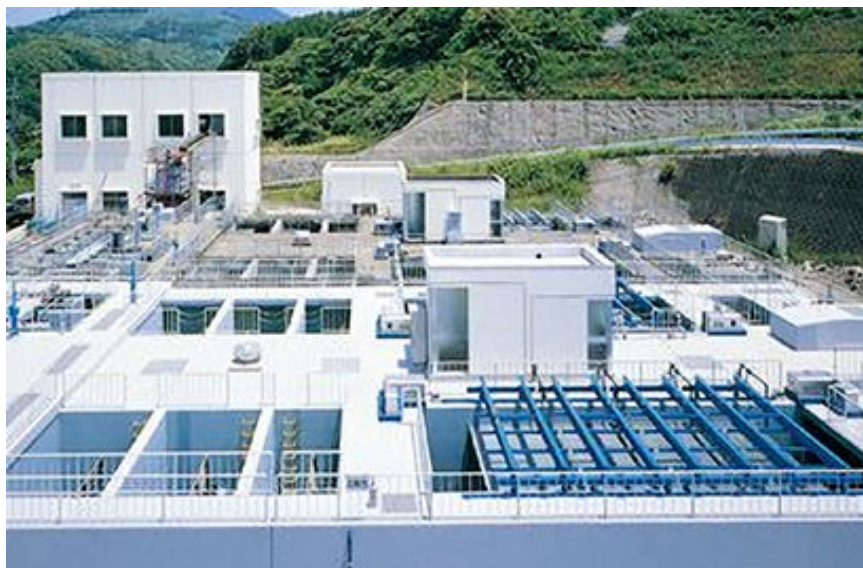
生活に欠かすことの出来ない水を通じ社会に貢献。

2023年から始まる新中期経営計画は、次の100年を目指すためのスタート地点として位置づけ。

5. 水道機工グループの紹介

(2) 主要事業内容

浄水施設における総合的なサービスを提供する水処理エンジニアリンググループとして、その中核を担う「水道機工」は、2024年に創業100周年を迎え、創業以来多彩な技術・製品をもとに安全でおいしい水を支え続けています。



浄水施設(浄水場)の全景

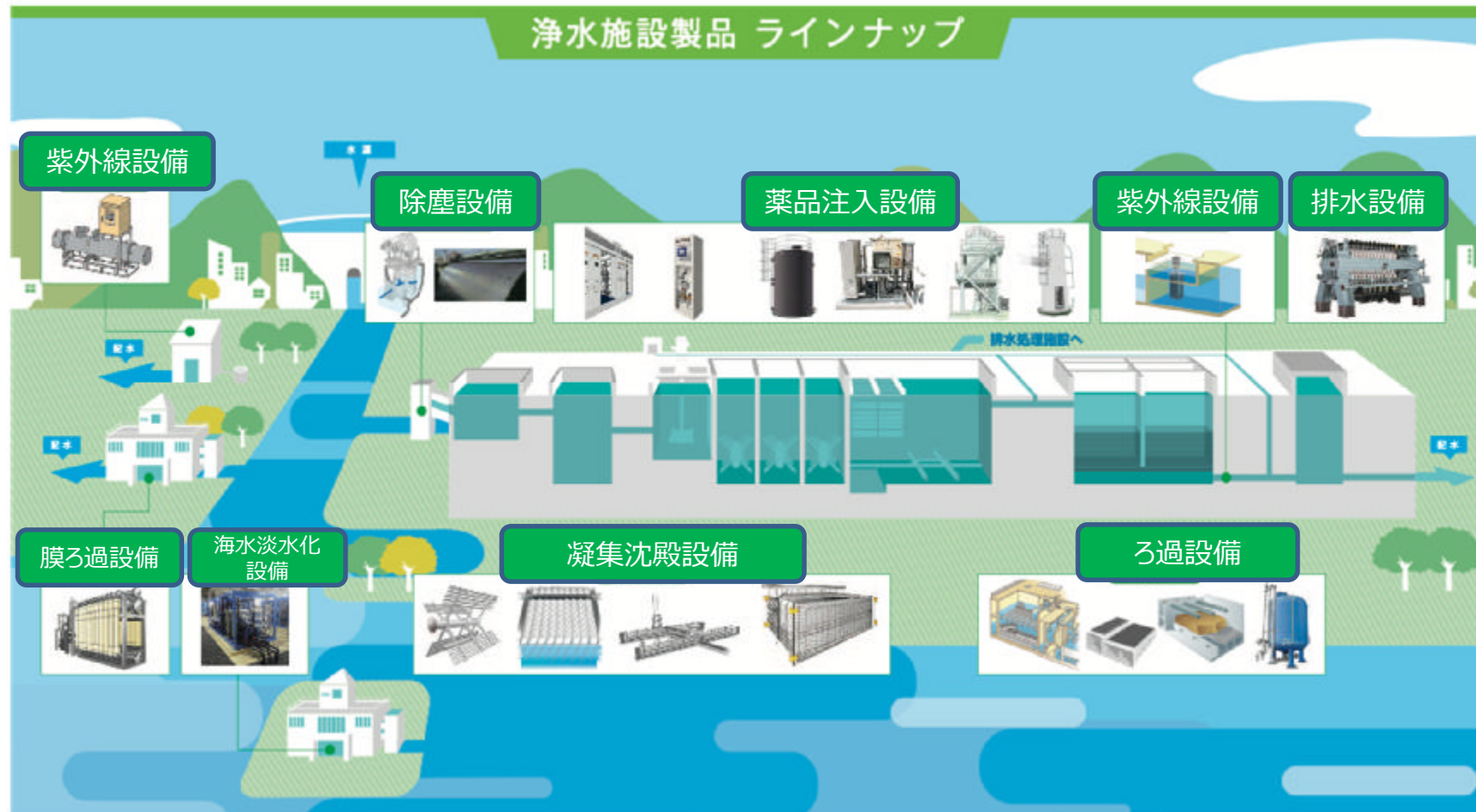


浄水施設(膜処理設備)の全景

5. 水道機工グループの紹介

(3) 当社グループ製品ラインナップ

当社グループ製品ラインナップは、浄水処理施設をトータルでサポートしています。



5. 水道機工グループの紹介

(4) 事業環境 & 水道機工グループの役割・事業内容

①更新からメンテナンスへの流れ

水道施設全体では、財政の制約から浄水場の更新が困難となる中、施設維持を改修・メンテナンスで対応する顧客が増加。

②グループ全体で浄水場の更新・メンテナンスニーズへ対応

弊社グループのお客様である自治体における財政・施設事情に合った、更新、改修・メンテナンス等の提案体制強化を水道機工グループの以下主要各社で推進中。

会社名	主要事業内容
水道機工株式会社	水処理施設の設計・施工・監理等
株式会社水機テクノス	水処理施設のメンテナンス等

5. 水道機工グループの紹介

(5) 水道機工へのアクセス

Webサイト : <https://www.suiki.co.jp/>
Twitter アカウント : @suidokiko



本資料中の業績見通し及び事業計画についての記述は、現時点における将来の経済環境予想等の仮定に基づいています。本資料において当社の将来の業績を保証するものではありません。